

ハサヌディン大学工学部整備計画【インドネシア】

施策所管局課 国別開発協力第一課
 評価年月日 平成 29 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インドネシア
(2) 案件名	ハサヌディン大学工学部整備計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	<p>南スラウェシ州のハサヌディン大学の工学部の整備・拡張とともに教員の本邦留学・研修の実施により、工学系の高等教育の拡充及び研究活動の強化を図り、もって工学系人材育成の強化と研究能力の向上を通じて同大学の位置するインドネシア東部の産業振興に資するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土木工事 ・ 資機材調達 ・ ソフトコンポーネント ・ コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日：平成 19 年 3 月 28 日 イ 供与限度額：78.01 億円 ウ 金利：1.5%（フェローシップ・プログラムについては、0.75%） エ 償還（据置）期間：30（10）年（フェローシップ・プログラムについては、40（10）年） オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、インドネシアでは、産業の競争力強化と、西部地域と東部地域の経済格差是正が課題となっており、特に、東部地域の産業振興のためには、これを担う工学系人材の育成が急務となっていた。インドネシアは近年も高い経済成長を遂げているものの、未だ一次産品が輸出品の約 4 割を占めており、引き続き工学系人材の育成を通じた産業の高付加価値化への期待は高い。従って、同国東部地域の工学系人材育成を担うハサヌディン大学に期待される役割は大きく、現在も本事業に関する社会的ニーズは変わらない。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>土木工事及び資機材調達の入札手続に時間を要したため、遅延したが、現在事業は順調に進められている。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズに変化は見られず、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており、事業進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続していく。</p>
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料